

# 新型コロナウイルス感染症に起因する雇用への影響に関する情報について

(10月21日現在集計分)

厚生労働省では、都道府県労働局の聞き取り情報や公共職業安定所に寄せられた相談・報告等を基に、新型コロナウイルス感染症の影響による「雇用調整の可能性がある事業所数(※1)」と「解雇等見込み労働者数(※2)」の動向を集計しています。

(※1)「雇用調整の可能性がある事業所」は、都道府県労働局及びハローワークに対して休業に関する相談のあった事業所(当面休業を念頭に置きつつも、不透明な経済情勢が続けば解雇等も検討する意向の事業所も含む。)

(※2)「解雇等見込み労働者数」は、都道府県労働局及びハローワークに対して相談のあった事業所等において解雇・雇止め等の予定がある労働者で、一部既に解雇・雇止めされたものも含まれている。

本情報は、総務省「労働力調査」等による最新の情報が公表されるまでの間に、新型コロナウイルス感染症が雇用に与えている影響の傾向を把握するための一助として、よりタイムリーな情報把握を行うための取組であり、原則として、週次で新たに把握された数値の動向を注視していくことが適当です。

特に「解雇等見込み労働者数」については、都道府県労働局等が把握できた範囲のものであって、必ずしも網羅性があるものではないため、累積値がコロナの影響を受けて失業された方の全体の人数を表すものではありません。また、把握時点での情報であるため、過去に把握した情報の一部には既に再就職をされた方も含まれている可能性があり、累積値の人数がその時点で失業されている方の人数を表すものではありません。

なお、都道府県労働局等が再度聞き取りを行った結果を反映するなど、数値が変動する場合がございますのでご了承ください。

ハローワークでは、新型コロナウイルス感染症の影響により解雇等された方に対して、相談支援体制を強化し、きめ細かな再就職支援等に取り組んでいます。

	新型コロナウイルスに係る雇用調整	
	雇用調整の可能性がある事業所数 (※1)	解雇等見込み労働者数 (※2)
全国	37事業所	318人

	解雇等見込み労働者数のうち非正規雇用労働者数 (※3)
全国	98人

(※3)非正規雇用労働者(正規雇用労働者以外の、パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等)の解雇等見込み労働者数

参考1:これまでの月次の動向

○ 雇用調整の可能性がある事業所数

2020年	5月	16,745所	6月	19,581所	7月	25,262所	8月	11,532所
	9月	15,729所	10月	10,215所	11月	4,523所	12月	3,331所
2021年	1月	2,146所	2月	2,415所	3月	1,581所	4月	923所
	5月	2,211所	6月	1,016所	7月	914所	8月	1,623所
	9月	603所	10月	694所	11月	683所	12月	474所
2022年	1月	239所	2月	308所	3月	464所	4月	351所
	5月	343所	6月	188所	7月	133所	8月	152所
	9月	108所	10月	112所				

○ 解雇等見込み労働者数

2020年	5月	12,949人	6月	12,688人	7月	11,980人	8月	8,935人
	9月	11,298人	10月	7,506人	11月	5,193人	12月	5,285人
2021年	1月	5,165人	2月	5,412人	3月	9,292人	4月	3,256人
	5月	2,524人	6月	3,697人	7月	3,586人	8月	1,470人
	9月	3,375人	10月	1,960人	11月	2,615人	12月	1,614人
2022年	1月	3,009人	2月	2,013人	3月	1,991人	4月	1,290人
	5月	1,208人	6月	824人	7月	930人	8月	1,409人
	9月	649人	10月	878人				

(※)10月分については、21日までの数値。

参考2:10月21日時点までの累積値

- |                          |            |
|--------------------------|------------|
| ○ 雇用調整の可能性がある事業所         | 138,068所   |
| ○ 解雇等見込み労働者数             | 137,775人   |
| ○ 解雇等見込み労働者数のうち非正規雇用労働者数 | 62,272人(※) |

(※)非正規雇用労働者(パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等)の解雇等見込み数は、令和2年5月25日より把握開始しており、解雇等見込み労働者総数の内訳になっているものではないことに留意が必要。

【業種別の動向】

増加数の大きな業種(上位 10 業種)

雇用調整の可能性がある事業所数		解雇等見込み労働者数	
1	医療、福祉	11	道路旅客運送業 83 (うち非正規0)
2	小売業	9	医療、福祉 48 (うち非正規27)
3	建設業	4	卸売業 36 (うち非正規0)
4	飲食業	2	飲食業 34 (うち非正規26)
5	道路旅客運送業	2	娯楽業 29 (うち非正規20)
6	製造業	1	小売業 21 (うち非正規2)
7	卸売業	1	農林業 17 (うち非正規0)
8	宿泊業	1	建設業 13 (うち非正規0)
9	専門サービス業	1	洗濯業 13 (うち非正規9)
10	理容業	1	製造業 8 (うち非正規1)
全体		37	318 (うち非正規98)

※業種は、都道府県労働局が企業から聞き取った情報であり、日本標準産業分類に準じて整理しているものではないことに留意が必要。

(参考)

累積数の大きな業種(上位 10 業種)

雇用調整の可能性がある事業所数		解雇等見込み労働者数	
1	製造業	24,827	製造業 33,737
2	飲食業	16,313	小売業 19,274
3	小売業	13,529	飲食業 15,342
4	サービス業	12,462	宿泊業 14,825
5	建設業	10,414	卸売業 7,872
6	卸売業	8,357	サービス業 7,327
7	医療、福祉	7,371	労働者派遣業 6,077
8	宿泊業	6,184	娯楽業 5,194
9	専門サービス業	5,994	道路旅客運送業 4,676
10	理容業	5,339	運輸業 4,366
全体		138,068	137,775

※業種は、都道府県労働局が企業から聞き取った情報であり、日本標準産業分類に準じて整理しているものではないことに留意が必要。

## (参考) 都道府県別集計結果(累積)「新型コロナウイルスに関連した雇用調整の状況」(累積数)

		雇用調整の可能性がある事業所数	解雇等見込み労働者数
1	北海道	14,181	4,452
2	青森	2,016	2,876
3	岩手	1,949	1,339
4	宮城	1,803	4,070
5	秋田	232	1,819
6	山形	3,550	1,616
7	福島	1,887	1,959
8	茨城	787	2,762
9	栃木	3,486	2,166
10	群馬	3,472	1,819
11	埼玉	2,102	2,767
12	千葉	3,603	4,061
13	東京	49,599	26,388
14	神奈川	4,529	6,256
15	新潟	749	2,893
16	富山	1,131	1,650
17	石川	2,567	1,700
18	福井	4,091	1,720
19	山梨	572	1,313
20	長野	1,256	2,755
21	岐阜	2,657	4,209
22	静岡	4,214	2,438
23	愛知	2,568	7,089
24	三重	4,655	1,382
25	滋賀	1,626	1,082
26	京都	1,561	2,274
27	大阪	1,170	11,108
28	兵庫	2,079	3,624
29	奈良	244	870
30	和歌山	345	623
31	鳥取	1,228	853
32	島根	649	915
33	岡山	1,564	1,805
34	広島	1,179	4,238
35	山口	512	1,739
36	徳島	434	121
37	香川	416	692
38	愛媛	435	1,220
39	高知	1,797	806
40	福岡	418	2,429
41	佐賀	184	1,256
42	長崎	137	2,590
43	熊本	240	842
44	大分	183	724
45	宮崎	2,830	1,632
46	鹿児島	783	2,246
47	沖縄	398	2,587
	合計	138,068	137,775

※都道府県労働局・ハローワーク管内の事業所から寄せられた相談・報告等による集計であり、同管外における情報も含まれることに留意が必要。